

## 幼児を対象とした自然体験活動

# 立少トントンたんけん隊

### 1 ねらい

- ・低年齢期の子供を対象として、豊かな自然環境の中で、できるだけ多くの子供たちに自然体験活動を提供する。子供たちに自然の中での活動を好きになってもらい、「また自然の家に来たい!」と感じてもらおう契機とする。

### 2 期日

令和6年4月1日～令和6年11月15日 令和7年1月10日～2月28日の期間実施

### 3 対象

幼稚園・認定こども園・保育園・保育所の子供

### 4 募集人数 / 応募人数 / 参加人数

富山県内 217 団体 /4/1～11/15 の期間：133 団体 4,540 名 内日帰り 109 団体 宿泊 24 団体  
1/1～2/28 の期間(見込み)：62 団体 2,320 名 宿泊団体なし

### 5 講師・スタッフ

国立立山青少年自然の家 研修指導員 2 名 国立立山青少年自然の家職員

### 6 日程

日帰り

	午前	午後
春～秋 雪のない時期	事前学習 トントン・ハートントンの森散策 こぎの森遊具遊び	前谷の沢歩き
冬 雪のある時期	事前学習 トントンの森散策・しり滑り	チューブそり滑り

宿泊

	午前	午後	夜
1 日目	事前学習	前谷の沢歩き	キャンプファイヤー
2 日目	登山 (大丸山・来拝山)	昼食後退所	

### 7 成果

- ・今年度から、所バスの廃車により、各園で交通手段を確保する形で募集を行ったが、前年度に比べ利用者数が大きく減ることはなかった。宿泊・日帰り含め、前年度利用者数は 6,876 名、今年度は 6,860 名と、前年度比-0.3%にとどまった。送迎廃止や指導料導入など、利用者にとってマイナス要素が増えた中、この結果にとどまったのは、プログラム自体に高い魅力があり、団体のニーズに合致していることや、過去に参加した園との昔からの強いつながりなどが要因と考えられる。

### 8 今後の課題

- ・指導料や用具使用料の導入により、さらなる体験の質の担保が課題である。指導者が、どの団体にも充実した体験を提供できるよう、定期的な指導力向上のための研修機会を積極的に設けていく必要がある。

- ・利用団体数が複数重なった時に、指導者が不足することが課題である。団体対応含め、様々な状況に迅速に対応できるよう、指導者の増員が必要である。現在、指導候補者の研修時期等を調整中である。

